

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2024年3月分)

2024年4月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[大統領評議会議長の交代\(16日\)](#)

●[選挙法改正に係るボン・パワー行使\(26日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[ノバリッチBH連邦前首相への有罪判決の確定\(13日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[RS政府関係者に対する米国の制裁\(13日\)](#)

●[ボン・パワー行使を受けたRSの動き\(28日\)](#)

ウ ブルチュコ特別区

●[ブルチュコ特別区刑法の改正\(18日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[BH関係者等のアンタルヤ外交フォーラムへの出席\(1日～3日\)](#)

●[BHのEU加盟交渉開始\(21日\)](#)

(2) 二国間関係

●[堧・伊両外相のBH訪問\(4日\)](#)

●[ベアボック独外相のBH訪問\(4日～5日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ノビ・トラブニク市診療所整備計画」引渡式の実施\(14日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●利益相反防止法の採択(8日)

8日、BH議会両院において会合が行われ、利益相反防止法が採択された。本法案はアイヒホルストEEAS欧州担当総局長が提示した「3+1」の条件に含まれており、採択を受けて当地EU代表部は利益相反防止法及び改正BH公務員法の採択という重要な決定がなされたと強調し、3月21日の欧州理事会に向け、欧州委員会はBHにおける改革の状況を評価するとの声明を発表した。

●大統領評議会議長の交代(16日)

16日、BH憲法に定めた輪番制に基づき、大統領評議会議長がコムシッチ・クロアチア系メンバーからベチロビッチ・ボシュニャク系メンバーに交代した。ベチロビッチ議長の任期は8ヶ月間。

●選挙法改正に係るボン・パワー行使(26日)

26日、シュミット上級代表はボン・パワーの行使を発表。選挙インテグリティ確保にかかるBH選挙法の技術的改正を行った。主な改正内容としては、選挙不正の防止のための新技術導入、戦争犯罪人の立候補禁止、BH中央選挙管理委員会の専門性と中立性の強化等。

メディア、選挙キャンペーン、選挙資金確保、違反への罰則等に係る一部条項については、BH議会が自らの改正案を採択する余地を残しており、4月19日までにBH側による改正が実現しなければ、シュミット上級代表による改正案が発効する。

今般の決定を受け、ボシュニャク系は与野党問わず歓迎の意を示したのに対し、クロアチア系及びセルビア系は強権の発動に反発。RS議会は対抗策としてRS独自の選挙法の制定に動き出すと発表した。

(2) エンティティ、特別区

ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●ノバリッチBH連邦前首相への有罪判決の確定(13日)

13日、BH裁判所は1月26日に下したノバリッチBH連邦前首相への第二審有罪判決につき、前首相による刑期開始の延期要請を却下する決定を下した。本件は、コロナ禍中の2020年、中国製人工呼吸器の調達を巡る汚職に関わったとして、同前首相及び「スレブレナ・マリナ」社社長、BH連邦市民保護局長に有罪判決が下っていたもの。今般の要請却下を受け、ノバリッチ前首相の刑(懲役4年)は確定し、刑務所に送られることとなる。

他方、ノバリッチ前首相は恩赦(減刑)申し立ても行っており、BH司法省及び大統領評議会にて審議が行われる見込み。

イ スルブスカ共和国(RS)

●RS政府関係者に対する米国の制裁(13日)

13日、米国財務省はRS政府関係者3名(オクカRS大統領顧問、パイッチ＝バシュティナツRS大統領府事務局長、ゴリッチRS民族院議長)に対し、「RSの日」祝賀行事の運営への関与を理由とし、資産凍結等の制裁を加える旨決定した。

●ボン・パワー行使を受けたRSの動き(28日)

シュミット上級代表による26日のボン・パワー行使を受け、RS国民議会は28日に緊急会合を開催。BH議会に対してシュミット上級代表決定の不履行、BH選挙法の採択等を含む決定を行うよう求め、それが果たされない場合はRSが国政の意思決定プロセスへの参加を停止するといった内容の結論文書を採択した他、RS選挙法案を承認し、採択に向けたプロセスを開始させた。

ウ ブルチュコ特別区

●ブルチュコ特別区刑法の改正(18日)

18日、ブルチュコ議会は改正刑法を採択し、イスタンブール条約(女性への暴力及び家庭内暴力の防止と対策に関する欧州評議会場約)と調和する形で「暴力」の解釈を拡大、心理的虐待、セクシャルハラスメント、結婚の強制、不妊の強制等を新たに刑法に規定する犯罪とする旨決定した。

BH各レベルの刑法のイスタンブール条約への調和は、女性団体等が中心となって立ち上げたイニシアティブにより働きかけが行われており、RSでは部分的な刑法の改正が実現していたが、刑法の完全調和はブルチュコ特別区が初となる。近年、BHでは家庭内暴力等により女性が殺害されるフェミサイドが強く問題視され、抗議活動等も複数回行われている。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●BH関係者等のアンタルヤ外交フォーラムへの出席(1日～3日)

1日～3日、トルコにて開催された第3回アンタルヤ外交フォーラムに、BHより大統領評議会3メンバー、コナコビッチ外相、ドディックRS大統領のほか、シュミット上級代表も出席した。

大統領評議会3メンバーはエルドアン・トルコ大統領及びアイヒホルストEEAS欧州担当総局長と会談した。また、個々でも会談を行い、ツビヤノビッチ・セルビア系メンバーはドディックRS大統領と共にオルバーン・ハンガリー首相及びラブロフ露外相と会談した。

●BHのEU加盟交渉開始(21日)

21日、ブリュッセルで行われた欧州理事会の会合において、BHのEU加盟交渉開始が正式に決定した。欧州理事会は、2022年10

月の欧州委員会の報告書に述べられた条件を達成することを前提に、欧州委員会に対し加盟交渉枠組みの準備を進めるよう勧告した。

(2) 二国間関係

●伊・澳両外相のBH訪問(4日)

4日、タヤーニ伊外相及びシャレンベルク澳外相は共同でBHを訪問し、大統領評議会3メンバー、クリシュト閣僚評議会議長、コナコビッチBH外相及びシュミット上級代表とそれぞれ会談した。

両外相は、BHが達成してきた改革を高く評価しつつ、今というタイミングをとらえたBHのEU加盟交渉開始を強く支持するとともに、両国としてもEUFORをはじめとしたイニシアティブを通じてBHの安定にコミットしていく旨強調した。

●ベアボック独外相のBH訪問(4日～5日)

4日～5日、ベアボック独外相はBHを訪問し、大統領評議会3メンバー、コナコビッチBH外相、シュミット上級代表とそれぞれ会談した。

ベアボック外相は、BHは一つの国家としてのみEUに加盟できる述べたほか、選挙インテグリティの向上の重要性を改めて強調し、国内での取り組みが進んでいる状態では、シュミット上級代表によるボン・パワーの行使が避けられない状況となれば、大きな損害となりうる旨指摘した。

●ファヨン・スロベニア外相のBH訪問(25日)

25日、ファヨン・スロベニア外相はBHを訪問し、ツビヤノビッチBH大統領評議会セルビア系メンバー及びコナコビッチBH外相とそれぞれ会談した。ファヨン外相はBHがEU加盟プロセスにおいて果たした成果を評価しつつ、今後も改革プロセスについて支持を継続していく旨述べた。

●ベチロビッチBH大統領評議会議長のベルギー訪問(25日～26日)

25日～26日、ベチロビッチBH大統領評議会議長はベルギー(2024年前半のEU議長国)を訪問し、ドゥ＝クロー首相及びラビブ外相と会談した。ベチロビッチ議長はBHのEU加盟プロセスについて、BH内の不協和を取り除くよう努力し、改革に努めていくと強調した。

ベルギー側からは、引き続きのBHのEU加盟プロセスに対する支持と、二国間関係の強化の重要性が述べられた。

(3)日・BH関係

●令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ノビ・トラブニク市診療所整備計画」引渡式の実施(14日)

14日、杵瀧駐BH日本国大使は、令和5年度草の根無償資金協力事業「ノビ・トラブニク市診療所整備計画」の引渡式に出席した。今回の支援では、ノビ・トラブニク市診療所に対して救急車及び医療機材の整備のため61,585ユーロが供与され、年間1800名の患者のスムーズな緊急搬送が可能となる。

引渡式においては、今回の支援を記念し、また日本とノビ・トラブニク市の友好の証として診療所前に日本の桜の木が植えられた。



(写真: 引渡式の様子)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2024年1月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比2.7%のプラス。また、昨年同月比6.5%のマイナス。

また、2024年2月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比3.6%のプラス。また、前年同月比1%のプラス。

●雇用／失業率

2024年1月の失業者登録数は34万561人(うち女性19万9,687人)で、前月比で0.9%マイナス、前年同月比で4.4%マイナス。

●平均給与

2024年1月の平均給与(手取り)は1,328 KMで、前年同月比で9.9%のプラス。

●消費者物価指数

2024年2月の消費者物価指数は前月比で0.5%のプラス。また、前年同月比で平均2.1%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0.4%のプラス。

●貿易収支

2024年1月～2月のBHからの輸出総額は25.05億KM(前年同期比13.1%減)、BHへの輸入総額は42.66億KM(前年同期比6.7%増)。貿易収支は17.61億KMの赤字。

●観光客数

2023年にBHを訪問した観光客数は1,183,169人(2022年:915,143人)。外国人旅行者の上位3カ国はクロアチア(165,975人)、セルビア(148,893人)、トルコ(141,876人)。日本人旅行者数は1,745人。

(2) 経済政策・公共事業

●IMFによる年次報告(19日)

19日、当地IMFはBH経済に係る年次報告

書を発表。BHの経済成長率はEU基準への適応には不十分とし、財政政策の改革、財政の持続可能性の確保、腐敗・汚職との闘い、デジタル化の加速、脱炭素化分野の改革とEUによる炭素税導入に向けた準備の必要性を指摘したほか、両エンティティの財政赤字の拡大、資金需要の増大を予測し、それへの備えを求めることに加え、RSの不透明な対外借入計画について注意を促した。

(3) 経済協力

●米国による地方自治体支援(20日)

20日、マーフィー当地米国大使は、USAIDによる地方自治体支援プロジェクトの枠組みにおいて、リュブシュキ、東イリジャ、ゴラジュ等の自治体とのパートナーシップ合意に署名を行った。本件は、行政サービスの機能向上及び市民に対する透明性の強化等を目的とし、BH国内の30自治体を対象として実施されるものである。

●ブルチュコ港の近代化プロジェクト(8日)

3月8日、ブルチュコ港において、EU支援下で行われているブルチュコ港近代化計画の一環として新規のクレーンの運用開始記念式典が実施された。ブルチュコ港は、EUからの支援(西バルカン投資基金(WBIF)から300万ユーロ、欧州復興開発銀行(EBRD)から700万ユーロ)を受け、アクセス道路、鉄道を含む近代化工事を実施中であり、本クレーン設置も同近代化工事の一環として実施されたもの。新設されたクレーンは16トンの積載能力を誇り、1時間あたり150～200トンの物品の積卸しを可能とする。

(4) 民間セクター

●英企業の投資による鉱山の採掘開始(5日)

5日、ヴァレシュ(BH中部、ゼニツァ・ドボイ・カントン)において、ルピツェ鉱山の採掘が開

始され、記念式典にニクシッチBH連邦首相が出席した。ヴァレシュは地域有数の鉄鉱石の産地として知られており、ルピツェ鉱山はユーゴスラビア時代に国営企業のエネルゴインベスト社により所有され、1988年まで操業されていたが、その後採掘を停止し、2012年に財政破綻が宣言され、翌2013年に英「アドリアティック・メタルズ(AM)」により買収された。AMはルピツェ鉱山に約4億KMを投資しており、亜鉛の採掘で2050年までに50億KMの利益を上げる見込みとしている。